



---

## す い か



やや出遅れたすいかをここに登場させる。

本県のすいかは、昭和32年の推定実収高44,070トンで全国第1位、全国の8.7%を産す。俗に鹿島すいかといわれているが昭和33年の調査では、真壁郡、筑波郡、稲敷郡の順に生産額が多く、谷田部町の4,078トンを筆頭に八千代村、協和村、関城町などが主要産地である。

すいかは熱帯アフリカを原産地とし、4,000年以前に古代エジプト人が栽培していたことが、今日残っている壁画に明らかである。

日本に渡来したのは1624～44年に長崎にという説と、1579年に中国から渡来したという説とがある。

すいかの品種は150種以上に及ぶが、市場品種として重きをなすものは多くない。

すいかも種々改良種があらわれたが、江戸時代は下級階級の食物であつたようだ。

---